

平成 30 年 6 月 25 日

## 平成30年度 ベトナム土木技術研修の参加者募集

北海道土木技術会土質基礎研究委員会  
委員長 石川 達也  
(北海道大学大学院教授)

### 「ベトナム土木技術研修」のご案内

北海道土木技術会土質基礎研究委員会ではこれまでサハリン、韓国、台湾、東南アジア諸国を対象として土木技術研修を実施し、これらの国の土木技術について学び、それを実務の一助としてきました。

今回は以下の通り「ベトナム土木技術研修」を計画しましたのでご案内いたします。

ベトナムは、国土面積が日本にほぼ等しく、南北に細長いという国土の形状も日本と類似した特徴があります。一方で 2015 年データによれば、平均年齢が 30.4 歳と日本の 46.5 歳と比べて圧倒的に若年層が多い若々しい国です。1970 年代の悲しい戦争の歴史もありましたが、その後のドイモイ政策の導入をきっかけに对外投资を呼び込み、順調に経済発展をしています。最近数年の GDP 成長率をみても ASEAN 域内でもトップクラスの 6%後半を維持しています。

日本との関係では、在日留学生の国別順位で 2 位と密な学術交流が行われており、さらに 2017 年の対ベトナム投資額は国別で日本が 1 位となっています。このように、日本とベトナムは友好な関係国であり、積極的な ODA 供与によってインフラ整備にも大きく貢献しています。

今回の視察は、行程を前半と後半に分けて、前半のみの参加とすべてを通した全参加のいずれかを選択する形で募集を行います。前半の行程は、別紙のとおり日本から経済の中心・ホーチミンに入り、史跡や大学などの視察と現場見学を実施します。その後は、全参加の方を対象にホーチミンから首都ハノイに移動して史跡や大学などを視察します。

旅行日程は、前半のみで平成 30 年 10 月 12 日(金)～10 月 16 日(火)の 5 日間、全参加で平成 30 年 10 月 12 日(金)～10 月 18 日(木)の 7 日間となります。

なお、この研修は通常の観光旅行と異なり、ルートの選定や移動方法、見学先の都合により、人数が限定される可能性があります。また、受付期間中でも航空機などが満席になった際は早期に受付を中止する場合があります。そのため、申込者全員が参加できないことがあり得ることをあらかじめご承知おきください。

## 研修日程

10月12日（金）

移動：20:00～21:00 台 千歳ー羽田（日本航空）

10月13日（土）

移動：01:25（羽田）ー05:15（ホーチミン）（日本航空）

視察先：ホーチミン市内視察（統一会堂、ベトナム戦争証跡博物館、ホーチミン市校工科大学など）

宿泊：ホーチミン中心地（3～4星ホテル）

10月14日（日）

視察先：クチトンネル（南ベトナム民族解放戦線の地下トンネル、別料金¥4,500）、ホーチミン市内視察

宿泊：ホーチミン中心地（3～4星ホテル）

10月15日（月）

視察先：ホーチミン市内 軟弱地盤対策工事および地下鉄工事の現場見学（調整中）

【全参加】ハノイへ移動

移動：15:00～17:00 台 ホーチミンーハノイ（ベトナム航空）

宿泊：ハノイ中心地（3～4星ホテル）

【前半のみ参加】帰国

移動：23:25（ホーチミン）ー06:55+1（羽田）（日本航空）

移動：09:00～10:00 台 羽田ー千歳（日本航空） ←帰国日 10/16（火）

10月16日（火）

視察先：世界遺産ハロン湾（別料金¥8,000）

宿泊：ハノイ中心地（3～4星ホテル）

10月17日（水）

視察先：ハノイ市内視察（ホーチミン廟、ハノイ工科大学など）

10月18日（木）

移動：00:05（ハノイ）ー07:20（成田）（日本航空）

移動：11:00～13:00 台 羽田ー千歳（日本航空）

※ 上記のスケジュールは今後航空会社や現場等の都合により変更になる場合がございます。

**旅行代金 前半のみ参加 10万円程度、全参加 15万円程度**

※ 問合せがあった際に正式な見積もり金額を提示いたします（申込時期により価格は変動）。

代金内訳（料金に含まれるもの）

- ・往復航空券（エコノミークラス）
- ・ホテル代（1名1室朝食付き）

料金に含まれないもの

- ・上記以外の食事費用、交通費、見学科

申込み・問合せ

（~~切~~9月14日（金））ただし満席時は早期に受付を中止します）

北海道科学大学 川端 伸一郎（E-mail：[kawabata@hus.ac.jp](mailto:kawabata@hus.ac.jp)） 以上